

札幌交響楽団 東京公演 2024

SAPPORO SYMPHONY ORCHESTRA

指揮：マティアス・バーメルト (首席指揮者)
Matthias BAMERT, *Chief Conductor*

2024年1月31日(水)

19:00開演 (18:30開場)

Wednesday, January 31, 2024 at 7 p.m.

サントリーホール

Suntory Hall, Tokyo

プリテン：

セレナード

ーテノール、ホルンと弦楽のための

BRITTEN: Serenade for Tenor, Horn and Strings, op. 31

テノール：イアン・ボストリッジ

Ian BOSTRIDGE, *Tenor*

ホルン：アレッシオ・アレグリーニ

Alessio ALLEGRIANI, *Horn*

ブルックナー：

交響曲第6番 イ長調

BRUCKNER: Symphony No. 6 in A major

チケット料金 全席指定・消費税込

S 7,500円 A 6,000円

B 5,000円 C 4,000円

P 3,000円

U25割 (C・P) 1,500円

※シルバー券 (65歳以上) S席・A席から1,000円引
(シルバー券、U25割の取り扱いはカジモト・イープラスのみ)



©Shin Canedy-Clarke

テノール：イアン・ボストリッジ
Ian BOSTRIDGE, *Tenor*



©Y. Fujii

ホルン：アレッシオ・アレグリーニ
Alessio ALLEGRIANI, *Horn*



©Riccardo Musacchio MUSA

主催・お問い合わせ/公益財団法人 札幌交響楽団

☎ 011-520-1771 (平日9:30-18:00)
www.sso.or.jp

マネジメント/IKAJIMOTOPLUS

助成/ 文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術等総合支援事業(創造団体支援))
独立行政法人日本芸術文化振興会

協賛/ 協力/ホクレン 協力/パシフィック・コンサート・マネジメント、公益財団法人 東京都交響楽団

チケット発売日 11月1日(水) 10:00~

[プレイガイド]

カジモト・イープラス www.kajimotoeplus.com [カジモト・イープラス 検索](#)

☎ 050-3185-6728 (オペレーター対応 10:00-18:00)

e+(イープラス) <https://eplus.jp>

チケットぴあ (Pコード 252-448)、ローソンチケット (Lコード 18012)

サントリーホールチケットセンター ☎ 0570-55-0017 (オペレーター対応 10:00-18:00 ※休館日は休業)

都響ガイド <https://www.tmsco.or.jp/j/ticket/> ☎ 0570-056-057 (オペレーター対応 月-金 10:00-18:00)

バーメルトは2024年3月で札幌交響楽団の首席指揮者を退任します。任期中最後の指揮になる東京公演で、バーメルトはブルックナーの交響曲の中で最も愛する「第6番」を取り上げます。2024年はブルックナー生誕200年です。それに組み合わせるのは名曲でありながら演奏頻度の高くないブリテンの「セレナード」。優れたテノールとホルンが欠かせない作品です。ポストリッジは当代随一のブリテン歌手。無名だった頃の彼は、バーメルトが監督を務めていたルツェルン音楽祭で「マイア受難曲」に抜擢され大成功を収めました。ポストリッジはアレグリーニについて「想像力が豊かな最高の音楽のパートナー」、アレグリーニはポストリッジを「天使のようで、また悪魔のような、美も毒も持ち合わせる声。日本での共演が楽しみ」と互いに称賛しています。ブリテンの夕暮れからの逍遥がブルックナーの音楽に見事に連なるバーメルトこだわりの美しいプログラムです。様々な困難を乗り越え、オーケストラとしてさらに成長することができた札幌のバーメルト時代の夕映えをぜひお聴きください。

マティアス・バーメルト

札幌交響楽団 首席指揮者
Matthias BAMERT, Chief Conductor

スイス生まれ。母国やダルムシュタットで学び、パリで作曲をブーレーズとシュトックハウゼンに師事。指揮はアメリカでセルに師事し、ストコフスキーの助手、さらにマゼールが音楽監督のクリエヴァンド管で正指揮者を務めた。



©Y.Fujii

その後、バーゼル放送響音楽監督としてヨーロッパで揺るぎない評価を得る。

ロイヤル・スコティッシュ・ナショナル管首席客演指揮者およびグラスゴウの現代音楽フェスティバル「ムジカ・ノヴァ」の監督として武満徹などの現代作品を数多く初演。ルツェルン音楽祭の監督も務めた。これまでモーツァルト・プレイヤーズ音楽監督をはじめ、ニュージーランド響、ロイヤル・フィル、マレーシア・フィル、テジョン・フィルなどのポストを歴任。BBC響、ロンドン・フィル、ロサンゼルス・フィル、パリ管、モントリオール響、レニングラード・フィル、N響など世界各地のオーケストラに客演。CD録音も数多く、国際的な賞を受賞している。

2018年4月、札幌首席指揮者に就任後、テーマを掲げた年間プログラムなどに取り組み、2021年には楽団創立60周年記念演奏会を成功させた。2022年にはCD「The Waltz」をリリース。2024年3月で任期満了となる。

イアン・ポストリッジ

テノール
Ian BOSTRIDGE, Tenor

ウィーン国立歌劇場、バイエルン州立歌劇場、ベルリン・ドイツ・オペラ、ミラノ・スカラ座や、各地の主要ホール&音楽祭に登場。オーケストラはベルリン・フィルハーモニー管弦楽団、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団、ロイヤル・



©Sim Canetty-Clarke

コンサートヘボウ管弦楽団、ロンドン交響楽団、シカゴ交響楽団、ボストン交響楽団、ロサンゼルス・フィルハーモニックなどと、指揮者はサイモン・ラトル、コリン・デイヴィス、小澤征爾、アントニオ・パッパーノ、リッカルド・ムーティ、ムスティスラフ・ロストロポーヴィチ、ダニエル・バレンボイム、ダニエル・ハーディングらと共演している。

録音はグラミー賞への計15回にわたるノミネートをはじめ、数多くの国際的な賞に輝く。近年はトーマス・アデアと『シューベルト：冬の旅』、サスキア・ジョルジーニと『美しき水車小屋の娘』、パッパーノと『シェイクスピア・ソングズ』(2017年グラミー賞) & 『レクイエム〜戦争の悲哀』をリリース。

オックスフォード大学で歴史学の博士課程を修了、セント・アンドリュース大学の名誉音楽博士。2004年CBE勲章を受勲。

アレッシオ・アレグリーニ

ホルン
Alessio ALLEGRIANI, Horn

ヒューマンライツ・オーケストラ創設者&音楽監督、アブリッツォ交響楽団首席指揮者。1997年にブラハの春国際音楽コンクール優勝、1999年ミュンヘン国際音楽コンクール最高位となる。ミラノ・スカラ座



©Riccardo Musacchio - MUSA

フィルハーモニー管弦楽団、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団、モーツァルト管弦楽団で首席/首席客演奏者を務め、アバド&モーツァルト管弦楽団とドイツ・グラモフォンから3枚のアルバムをリリース。現在ローマ・サンタ・チェチーリア国立アカデミー管弦楽団およびルツェルン祝祭管弦楽団の首席奏者。これまでに、クラウディオ・アバド、カルロ・マリア・ジュリーニ、ダニエル・バレンボイム、ヴォルフガング・サヴァリッシュ、ロリン・マゼール、チョン・ミョンフン、マリス・ヤンソンス、ワレリー・ゲルギエフ、サイモン・ラトル、アントニオ・パッパーノ、リッカルド・ムーティらの指揮者と共演。近年はサンタ・チェチーリア国立アカデミー管弦楽団と、パッパーノの指揮でカーターのホルン協奏曲ヨーロッパ初演や、イアン・ポストリッジとのブリテンのセレナードで共演している。

札幌交響楽団

Sapporo Symphony Orchestra



1961年発足、北海道唯一のプロ・オーケストラとして、「札幌」の愛称で親しまれ、2021年に60周年を迎えた。透明感のあるサウンドとパワフルな表現力は雄大な北海道にふさわしいオーケストラとして広く知られる。歴代指揮者は名誉創立指揮者の荒谷正雄、ペーター・シュヴァルツ、岩城宏之、秋山和慶、尾高忠明、マックス・ボンマー、ラドミル・エリシュカなどが務め、現在は首席指揮者 マティアス・バーメルト、名誉音楽監督 尾高忠明、友情指揮者 広上淳一、正指揮者 川瀬賢太郎を擁する。

現在、2名のコンサートマスターを含む75名の楽団員が在籍。年間約120回のオーケストラ・コンサートを行うほか、積極的に地域活動に参加し、小編成での教育福祉活動を北海道全域で展開している。60年の歴史の中では50周年のヨーロッパツアー



©Y.Fujii

など節目ごとに海外公演を行い、これまでにアメリカ、英国、ドイツ、イタリア、東南アジア、韓国、台湾を訪問、各地で好評を博した。北海道を拠点に世界に発信するオーケストラとしますますの充実を目指す。

公式ホームページ www.sso.or.jp

- やむを得ない事情により内容に変更が生じる場合がございますが、公演中止の場合を除き、チケットの払い戻しはいたしかねます。あらかじめご了承ください。
- ご来場の皆様に安心して聴きいただけますよう、感染症の防止と予防のための適切な対策に今後も引き続きご協力をお願い申し上げます。 ●未就学児の入場はご遠慮いただいております。